

04 | シカ被害防除



1 シカの生態

- 年1回で1頭ずつ出産し、群れで子供を守り抜く習性がある。
- 寿命は長く（最長24年）、捕獲圧がなければ年20%程増加するとされている。
- 走るスピードが速く、0.5秒で十数メートル移動する。
- 2m以上跳び越えられる能力を持つが、普段は跳ばず、柵は潜り込むことが多い。
- イノシシと違い、副蹄が無いので、斜面は斜めにしか降りることができない。
- 幅20cm程の狭い所でもくぐる。
- 草食（ササが好物）であり、高さ2mの範囲に生えている植物はほとんど食べる。
- 1日5kg以上の植物を食べるため、山林に甚大な被害を及ぼすことが多い。
*特に冬期の樹皮剥ぎによる林業被害が大きい。
- シカの餌には地域性があるので、その地域のシカが何を食べているのか、把握しておく必要がある。



2 捕獲および柵設置のポイント

- オスの方がメスより行動圏が広く、シカが侵入したばかりの地域では、オスが多く捕獲され、この段階から捕獲を開始するのがよい。
- メスが捕獲され始めると、シカの定着が始まっている証拠。
- 柵にネットを垂らす場合、シカ対策の場合はネットをふんわりと垂らす。（イノシシ対策の場合は柵と地面に沿ってしっかりと張る）。
- 捕獲するには相手を油断させる、追い払うには相手を怖がらせることが重要。
- 防護柵を設置する際には、通常1.5m程度、追い込まれた際には2m程度ジャンプすることを考慮する。
*特に傾斜地での設置は跳び越えやすくなるので注意。
- 20cm程度でもくぐりぬけることがあるので、柵の下の隙間にも注意する。
*オスの角は体に沿わせてたたむようにして隙間をくぐる。
- 柵やネットの設置後は、倒木やシカの絡まりによるたるみや噛み破りが無いかを定期的に確認してメンテナンスをする。

